

2015年4月1日

東京大学社会科学研究所  
附属社会調査・データアーカイブ研究センター  
計量社会研究分野 二次分析研究会事務局  
HP: <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>  
Mail: [s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp)

## 二次分析研究会のご案内

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターでは、データアーカイブに収録されている調査データの有効活用を推進するため、共同利用・共同研究拠点事業として「二次分析研究会」を行っています。研究会は「参加者応募型研究」と「課題公募型研究」の2つに分かれます。以下の詳細をご覧ください、参加をご検討くださいますようお願い申し上げます。

### ■参加者公募型研究について

テーマを設定し、参加者を募って二次分析を行う研究会です。1年をかけて分析を行い、翌年の2月か3月の成果報告会にて研究成果を発表、ディスカッションペーパーにその成果をまとめます。

2015年度のテーマは、「子育て支援と家族の選択」です。

サーベイリサーチセンターが実施した、主に就学前の子どもをもつ保護者対象の調査データに、回答者の居住情報（自治体の人口構成、産業別就業人口構成割合、幼稚園・保育所数、その他）を紐付けたデータを用います。なお、本データは2015年度末、本研究会終了後に弊アーカイブで公開の予定です。また、この公開データに加え、「子ども・子育て支援事業計画」の策定などのために複数の自治体で実際に実施された調査データも、本研究会への参加者限定で分析の予定です。

研究会や調査の概要等については、下記を御覧ください。

<http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/secondary/collegiumA/2015/>

保育の質と施策、ワークライフバランスや家族間の格差、地域創生など、幅広い関心からご参加いただけます。また、研究会への参加旅費も支給されますので、東京近郊にお住いでない方々も、ぜひ参加をご検討ください。

## ■課題公募型研究について

「課題公募型」研究は、申請者が研究テーマ・利用データ・共同研究者を設定して応募し、弊センターが所有する社会調査データを用いて行う研究です。募集は年1回です。2月または3月に成果報告会を開催します。(弊センターの社会調査データについては弊センターウェブサイトの「[データ検索システム](#)」などを参照。)

弊センターでの研究会および成果報告会開催にあたっての旅費を、調整のうえ、予算の範囲内で支援します。また、各研究代表者に関しては、センター内の共同研究室の利用についても便宜をはかります。

社会学、経済学、政治学、その他どのような分野でも構いません。是非ご検討ください。

過去の一例として、以下のようなテーマが採択されています。

- ・『民主主義』に関する意識についての時系列・国際比較分析
- ・「わが国における就業と生活行動との関連性についての多角的研究」
- ・「高校生の進路意識と家庭における子への教育の関与について」
- ・「戦後日本社会における都市化のなかの世帯形成と階層構造の変容」

## ■応募方法

<http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/secondary/kobo/> から

「申請書様式1」または「公募様式2」をダウンロードし、必要事項を記入の上、[s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp) にメールでお送りください。

★メールの件名には、「参加者公募型研究（二次分析研究会）の応募」など、参加者公募型か課題公募型かがわかるよう、その旨を明記してください。

## ■応募締切

いずれも、2015年5月7日（木）

<問い合わせ先>

二次分析研究会事務局：[s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp)



**応募締切**  
**2015年5月7日(木)**

**二次分析研究会  
 参加者公募型研究  
 参加者の募集**

当センターでは、毎年テーマを設定して、二次分析研究会を実施しています。2015年度は(株)サーベイリサーチセンターが実施した調査を中心に、自治体実施の調査データを取り入れながら分析を行います。

# テーマ 「子育て支援と家族の選択」

■ **使用データ:**  
**「子ども・子育てに関するアンケート」(2012年・サーベイリサーチセンター実施)**  
 本データに回答者の居住地域情報(人口構成、産業別就業人口割合、その他)を紐付けたデータを用います。またこれに加え、「子ども・子育て支援事業計画」の策定などのために複数の自治体で実施された調査データも、本研究会への参加者限定で分析の予定です。

■ **応募資格:**  
 大学の教員および修士以上の大学院生  
 当センターへのデータ寄託機関の研究者

■ **応募方法:**  
 下記のURLのページより「申請書様式1」をダウンロードの上、  
 必要事項を記入し E-mail: [s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp) まで送付

■ 使用データや応募方法の詳細は、社会調査・データアーカイブ研究センターHP  
<http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/secondary/kobo/2015/>  
<http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/secondary/collegiumA/2015/>

■ お問い合わせは、[s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp](mailto:s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp) まで